

平成30年度 みのわのぞみ保育園事業報告書

【施設運営状況】

- ・自然豊かな環境を活かし、園内外を問わず積極的に身体を動かし、個々の身体発達に合わせた十分な全身運動が行えるようにしました。
- ・乳児の受け入れ枠を増員し、子どもたちが保育室内でも使いやすいように常に工夫しました。
- ・保護者、保護者会との連携を十分に取り、子どもたちの個々の成長に合わせた保育にご理解を頂き、様々な行事にも協力を得て、良好な保育運営ができました。
- ・年長児の食育の取り組みとして引き続き地産地消を行い、地域で取れた野菜を農協(JA)を通じて購入しました。その野菜を翌日の給食に反映させることでより食事に興味や関心を持ち、より良い食育に繋げていくことができました。幼児クラスは、クラスに合わせて、トウモロコシやそら豆などの皮むきを体験しました。
- ・日頃より職員間で個々の育ちや気づきを共有し連携をとることができました。それぞれの専門性を活かし保育に対する意識を高め、協力や連携をとることを心掛けていきました。
- ・年齢別保育、支援児に対する理解など、更なる保育士の質の向上を目指し積極的に研修に参加した。
- ・地域子育て支援事業を充実させ、育児講座、食育講座、交流保育、園庭解放を実施し、地域の方々に施設を利用して頂きました。利用者からアンケートで頂いたご意見を反映させ、より良い講座となるよう努めました。
- ・近隣のグループホームきららと、季節の行事、誕生会での交流を積極的に行うことができました。
- ・幼保小の連携を積極的に取り入れ、近隣の保育園・小学校との交流の場を増やし、関わりを深めました。

【職員の状況】

職名	平成30年4月1日の職員数				年間退任・就任								平成31年4月1日の職員数 (常勤換算は3月分)									
	正 規 職 員	有期契約職員			計	正 規 職 員		有期契約職員						計	正 規 職 員	有期契約職員			実 人 員 合 計	常 勤 換 算		
		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B		就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任			契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B			常 勤 換 算	
																						就 任
園長	1				1										0	1					1	1
主任	1				1										0	1					1	1
保育士	8		1	2	11	1	1				1		1		4	10			1		11	10
栄養士	1				1										0	1					1	1
調理員	2				2										0	2					2	2
保育補助	0		1	2	3										0	0		1	2	1	3	1
調理補助	0				0										0	0						0
事務員	1				1										0	1					1	1
嘱託医	0	2			2										0	0	2				2	2
計	14	2	2	4	22	1	1								4	16	2	1	3	1	22	19

* 臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

【利用者支援状況】

- ・早朝の時間帯に非常勤職員を雇用し、状況に応じ保育内容等を整備しながら、子ども達が安定して過ごせるよう対応しました。
- ・園内外において、人との関わりや自然のふれあいを大切に、季節が感じられるような場所へお散歩に行き、花々を見たり、自然物を集めて作品制作しました。
- ・地域のお話会の方による絵本の読み聞かせを楽しみました。
- ・子どもたちが自分の思いを言葉で伝えやすいよう、聞く時も伝える時も焦らずゆっくり対応するようにしました。
- ・年齢発達に合わせた様々な表現を楽しみ、活動の一環として運動会やおたのしみ会を行い、各行事の中でも、作品の発表をクラス毎行いました。
- ・季節の野菜作りを楽しみながら、子どもたちが収穫した野菜を給食に使用して食べる喜びや感動を感じられるようにし、健康な心と身体を育て、安心した食事提供を実施していきました。また、日々の給食の中で子どもたちに食材や栄養、行事の由来などを栄養士の手紙として知らせ、興味や関心を持たせて食育に繋げていきました。
- ・お相撲さんと呼んでのもちつきなどの季節の行事、音楽に合わせて身体を動かすリズム遊びを実施しました。年間を通して異年齢交流を積極的に行い、日々の保育内容をより充実させました。
- ・食物アレルギー児へ個々に応じた対応を行いました。
- ・「気になる子」への対応については、保護者との信頼関係を築きながら、日々の様子や成長を伝え、子どもに対する共通理解を深められるよう取り組みました。
- ・支援児への配慮は、行政や専門機関と連携をとり、保護者の理解のもと積極的な関わりを行い、子育ての喜びを共感していきました。

【施設整備状況】

- ・乳児避難車増車
- ・幼児クラスロッカー買い替え
- ・園庭砂場の砂補充
- ・AED設置
- ・防犯カメラ設置

【利用者状況推移】(各年度4月1日現在)

年度	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
29年度	9	12	19	19	19	78
30年度	11	15	18	19	17	80

【主なできごと】

年間行事予定 別途添付

【その他について】

安全管理

- 防災関連 毎月1回 避難訓練、消火訓練を実施しました。
防災備蓄の充実を図り、期日を決め消費期限の管理をし、非常時の備えを行いました。
広域避難場所への移動を実施し、避難経路の確認をしながら今後の課題を見つける事が出来ました。
- 健康管理 園児は毎月の身体測定、年2回の嘱託医による健診、歯科検診、尿検査(幼児クラス)を実施しました。職員は年1回の定期健診及び毎月の細菌検査を実施しました。
健康管理には最善の注意を払い、感染症については早急にお知らせを出しました。
- 衛生管理 おもちゃの消毒や室内の清掃、感染症の流行時には消毒を徹底しました。
- 安全管理 毎月1回マニュアルシートを見て確認を行いました。

地域交流

- ・園庭開放や育児講座、食育講座、交流保育を行い、地域の子育ての相談なども受け付けました。
- ・もちつきに力士が来園し、在園児や地域の方が一緒に楽しみました。
- ・港北区で行われた『わくわく子育て広場』に遊び部門として参加し、簡単おもちゃ作りに参加し、子育て世代の方々と交流することが出来ました。また、当日は、スタッフとして参加しました。
- ・地域の『にこにこ広場』では、ボールプールを貸し出し、子育て支援との連携をはかりました。
- ・年長クラスでは、地域の保育園と連携して年長児交流会をもち、小学校との交流では一緒にゲームやドッジボールを行い交流を深めました。

研修会実施状況

別途添付

事業苦情内容及び結果の公表

件数	主な苦情内容	対応及び解決方法
5件	<ul style="list-style-type: none">・保護者より (3件)・路上駐車 (2件)	<ul style="list-style-type: none">・園児による暴言・アタマジラミの対応について・アパート前に駐車されていて困る。・以前より改善が見られない <ul style="list-style-type: none">・相手が傷つくような言葉を言わないよう伝え、再発防止に努める。・法人マニュアルに沿った対応をお伝えしご理解頂く。・駐停車禁止の張り紙を正門外にも掲示した。・近隣に新しくできた保育園の送迎車も当園の近くに駐車しているため、行政から呼びかけをしてもらえよう依頼した。